



1年学年だより

発行日:令和5年4月28日(金)

発行者:横浜市立南高等学校附属中学校

学校長:遠藤 広樹 NO.1

新年度のスタートにあたり

校長代理 中澤 務

富樫 哲一校長代理の後任として4月に着任いたしました、中澤 務 (なかざわ つとむ) です。皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。

4月7日の着任式で新たに6名の教員を、そして4月10日の入学式では160名の新入生を迎え、令和5年度が晴れやかにスタートしました。南高附属中の始業式では私から、生徒の皆さんとさまざまな場面で交流して、この学校の素晴らしさを実感したい、そのためにもお互いに気持ちのよいあいさつができたらい、ということや、今の時代は正解だけが知りたいのならAIに尋ねることだってできるが、南高附属中に集まった仲間同士でのコミュニケーションを大切に、お互いの考えを確かめ合い、意見を積極的に交換しよう、というようなことを伝えました。

ところで皆さんは、4月1日に「こども家庭庁」が創設され、さらに、「こども基本法」が施行されたことをご存じでしょうか。「こども基本法」は、すべての子どもや若者が将来にわたって、幸せな生活ができる社会を実現するためにつくられました。「こども基本法」の第三条にはこんなことが書かれています。

三 全てのこどもについて、その年齢及び発達に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。

四 全てのこどもについて、その年齢及び発達に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮されること。

年齢や発達の程度に応じて、子どもが自分に関係することに意見を言えたり、社会のさまざまな活動に参加できたりすることや、子どもの意見が尊重され、子どもにとって最もよいことが優先して考えられることが示されています。子どもが社会に向けて意見を発信できるのです。総合的な学習の時間“EGG”などでの研究による提案や、南高附属中の生徒の意見によって、世の中がよりよくなったらどんなに素晴らしいことだろう、なんて思っています。授業での熱心な意見交換の様子を見ていると、本当にそんなことが起きるんじゃないかと思ってしまう。社会全体を変えるまでのことではなくて、学校生活をよりよいものにするためのアイデアや意見も、もちろん大事です。生徒会、各種委員会、学級活動などでの活発な意見交換を期待しています。そして何より、生徒の皆さんがお互いの意見や思いを、個性を、存在を、いつも尊重しあえる関係であることを願っています。

保護者の皆さま、地域の皆さま

中学校3年間では心も体も大きく成長します。新年度のスタートにあたり、この大切な時間の多くを共に過ごし、生徒の楽しい学び、夢の実現を支援する私たち教職員は、生徒の意見や思いを尊重することとともに、その存在がかけがえのない大切なものであることを改めて確認いたしました。保護者の皆さま、地域の皆さまにおかれましては、南高附属中生徒の成長を支えていただきながら、南高附属中の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願いする次第です。どうぞよろしくお願いいたします。

学級、教科の先生を紹介します!

中学校では、教科ごとに授業を担当する先生が変わります。そのため、各教科をより専門的に深く学ぶことができます。

また附属中学校では、中学校の先生方のほかにも、高校の先生方にも授業を担当していただいています。そして、教科学習だけでなく、EGG や委員会、部活動などでも、たくさんの先生方や職員の方々が、12期生の成長に関わってくださいます。(南高校および附属中学校には約100人の先生方・職員の方々がいらっしゃいます!)校内で出会う中学校、高校すべての方に、みなさんから、元気に何度でもあいさつをしましょう。

※1 斜体字は高校の先生です。

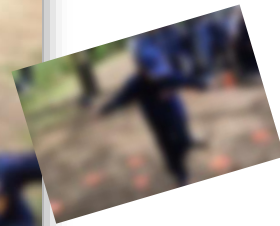
※2 英語と数学は2クラスを3グループに分けて、少人数で学習します。

	1年1組	1年2組	1年3組	1年4組
担任	小川 麻悠子	神谷 紘祥	小堀 真由美	深谷 きらら
副担任	酒井 貴史	福田 由美	青木 裕介	青木 裕介
国語	福田 由美	福田 由美	小堀 真由美	小堀 真由美
社会	青木 裕介	青木 裕介	青木 裕介	青木 裕介
数学	酒井 貴史 山口 智司	酒井 貴史 山口 智司	酒井 貴史 古谷 知農	酒井 貴史 古谷 知農
理科	神谷 紘祥	神谷 紘祥	神谷 紘祥	神谷 紘祥
音楽	高尾 真樹子	高尾 真樹子	高尾 真樹子	高尾 真樹子
美術	松岡 真記子	松岡 真記子	松岡 真記子	松岡 真記子
保健体育	深谷 きらら 小野寺 啓司 高橋 弘大	深谷 きらら 小野寺 啓司 高橋 弘大	深谷 きらら 小野寺 啓司 高橋 弘大	深谷 きらら 小野寺 啓司 高橋 弘大
技術	甲斐 謙二郎 佐野 和夫 太田 荘司	甲斐 謙二郎 佐野 和夫 太田 荘司	甲斐 謙二郎 佐野 和夫 太田 荘司	甲斐 謙二郎 佐野 和夫 太田 荘司
家庭	島袋 十和子 菊池 智美	會田 裕香 菊池 智美	會田 裕香 菊池 智美	島袋 十和子 會田 裕香
英語	小川 麻悠子 三上 眞央 蛭田 祥友 Simon Revell	小川 麻悠子 三上 眞央 河井 彩歩 Simon Revell	小川 麻悠子 西尾 彩 河井 彩歩 下村 ゆりか Simon Revell	小川 麻悠子 西尾 彩 花嶋 康晃 下村 ゆりか Simon Revell

青空の下の P A A !!

4月14日(金)、12期生はプロジェクトあしがらアドベンチャー(PAA)に行ってきました。
当日は最高の天気の中、ファシリテーターの方々とともに、仲間と協力しなければ解決できない数々のアクティビティに挑戦していきました。

PAAの合言葉は『本気(まじ)で、みんなで、安全に、聴く、話す』。うまく出来ても出来なくても、みんなで声をかけ合い、仲間を思いやり、協力して取り組みました。気づきの言葉を書きためた「BEING(みんなの手形で縁取られた模造紙)」は、クラスやフロアに掲示してあります。南高附属中学校での生活の大きな第一歩となりました。



～PAAの振り返りより～

中学校生活で初めて書いた「振り返り」。皆さんがPAAで学べたこと・気づいたこと・これから意識したいことなど、これからの学校生活を良くするためのたくさんの“ヒント”が書かれていました。今号では1クラス1人ずつしか紹介できませんが、今回の振り返りを忘れずに、生活していきましょう。

1組

PAAの活動を通して、全員の知恵を出し合って問題を解決することや、互いに補い合って協力することの大切さを感じた。全員の知恵を出し合って問題を解決するために積極的に意見を言ったり、意見を言いやすい環境をつくりたいと思った。

また、そうやって協力していくために、まずは自分が得意なことと苦手なことを理解して、得意なことでも周りを助けられるようにしたい。これらのことを意識しながら、これからの学校生活を過ごしていきたいです。



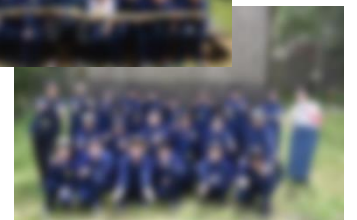
2組

楽しかったこととしては、グループの人全員が本気で取り組んでいて、つまらないような人が誰もいなかったことです。やはり、周りの人の態度によっても自分が楽しいと感じるかが変わることを学びました。また、大切だと思ったことの一つは、まだ話したことがない人に自分から話しかける・自分から行動することです。話しかけにくいなと思った人でも、自分から話しかけるとその人の性格を知ることができ、話しやすくなりました。

3組

言葉でのコミュニケーションを積極的にとること、そして、コミュニケーションの中で意見共有や思い、考えを工夫して打ちあけることで、失敗を次に生かして成功へ近づいていけるということが、PAAで実感した気付きです。

学校では授業や学習の面で自分から他の人の意見を聞いて、自他共に意見を深め合うことができると思います。その中で相手にわかりやすく理解してもらるように表現することで、より“厚い”コミュニケーションや意見交換ができると思います。そうすることで、自分の学習を深掘りできると思います。



4組

PAAの活動を通して、これからの学校生活では、他人のことを気にかけ、ためらわずに行動することを生かしていこうと思った。PAAで名札を書き合う活動をしていた時に、書くペアが見つからず困っていたら、一人「一緒にやろう」と言ってくれた人がいた。これからは、その人のように、周りの人を気にかけて自分から話しかけられるようにしようと思う。また、みんなは仲間だから、頼るときはしっかり頼り、他の人のことを気にかけて行動していきたいと思う。

今月の“よし👍”ポイント！

12期学年主任の酒井です。ガチガチの入学式から早3週間。少しずつ学校生活に慣れ、休み時間の笑い声・授業中の元気な発言が1階の職員室まで響いていて、みなさんの様子が伝わってきます。goodです！「みんなで過ごすから楽しい」とみんなが思える学年にしていきたいと思います！